

令和 7 年 7 月 23 日 (水曜日) 第 12942 号
 発行所 札幌市中央区北 5 条西 6 丁目
 株式会社 北海道通信社
 〒(代) 222-3521 FAX 222-3532
 発行人 松本 謙 公
 支社 東京 6272・4534 旭川 23267 函館 27781
 札幌 25741 旭川 23267 函館 27781
 支局 小樽 260515 釧路 260515 網走 260515
 (購読料 1 ヶ月 12,960 円)

人と自然を大切にしたい
 価値ある商品づくりを。



TOMBOW
 北海道トンボ株式会社
 〒060-0906 札幌市東区北 6 条東 5 丁目
 TEL (011) 742-2351 (代) FAX (011) 731-1176
 URL <http://www.h-tombow.co.jp>

中頓別町教委 東京学芸大連携で ウェルビーイング 指標開発 8 年度 義務校に本格導入

【推し進め】中頓別町教委は本年度、東京学芸大学が進めるプロジェクトに参加し、教育ウェルビーイングの指標を共同で開発する。多面的概念であるウェルビーイングを定量的に可視化・測定・分析し、学びの質や成長の変化を把握する試み。本年度から試行導入し、8 年度開校の幼小中一貫義務教育学校「中頓別学園」の効果検証に活用する。

ウェルビーイングとは「身体的・精神的・社会的に良い状態」を指し、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含む概念。国・自治体の教育政策などで重要なキーワードになっている一方、定量的な可視化が困難になっており、地域の実情に合わせ、大学と自治体が共同で独自のウェルビーイング指標を共同で開発し、児童生徒や教職員の状態の定量・定性的な測定・分析、学びの質や成長の変化を系統的に把握する仕組みづくりを図る。

中頓別町は 5 月に東京学芸大との連携協定を締結し、道教育大学の推薦を受けプロジェクトへの参加が決定した。中頓別町、福島県大熊町、神奈川県葉山町、岐阜県山県市、富山県延岡市の 5 教委が参加。7 月上旬のキックオフイベントから事業が始まった。

中頓別学園では、体験活動や英語教育なども園から取り組む。幼児教育積み上げ型、UDL（学びのユニバーサル・デザイン）教育を推進する「先導的学び」、地域全体を学びの場にする「教育委員会協働型」、誰一人取り残さない教育を目指す「教育と支援の融合」の四つの柱を掲げ、世代を超えた学びと交流の場の創出を構想している。

町教委は中頓別学園の教育にシヨンの効果を検証するため、年 2 回の学校評価に独自のウェルビーイング指標を取り入れる。幼小中一貫校の性質を踏まえ、学校種に統一する形式を想定しており、地域の人も学校評価に参加できるよう工夫するなど独自に決定する。12 月のこども園、小・中学校の学校評価の一部を試行導入し、8 年 7 月から中頓別学園での全面的な導入を計画している。

町教委の大島朗教育長は「生涯にわたって学び続けられる環境づくりに取り組むことが地域全体を豊かにする基盤。地域全体を学びの場」と見立て、地域社会に展開する新しい時代の学びの場と多世代が学ぶ合う環境を整備しながら、教育ウェルビーイングの実現を目指したいと期待する。